

病害虫発生予察情報

8月月報

令和4年9月16日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2022年 8月	気温						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	33.4	0.9	24.7	1.0	28.5	1.0	21.0	71	65.4	103
中旬	31.8	0.1	23.6	0.2	27.3	0.3	126.5	206	45.1	79
下旬	29.9	-0.9	22.2	-0.3	25.8	-0.3	23.5	28	32.3	56
平均	31.6	0.0	23.5	0.3	27.2	0.4				
合計							171.0	99	165.5	80

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

- 上旬：期間の初めと終わりは高気圧に覆われ概ね晴れたが、湿った空気の影響で雷雨の日もあった。期間の中頃は前線や湿った空気の影響で曇りや雨となり、雷雨の日もあった。
- 中旬：台風第8号の接近・通過、低気圧や前線の影響で雨の日があったが、高気圧に覆われ晴れの日もあった。
- 下旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：ナスは高温が影響し「焼け果」や「つやなし果」の発生が見られた。

葉菜類：キャベツやブロッコリーでは平年どおり定植作業がおこなわれたが、暑さの影響で活着不良が見られた。コマツナ、ホウレンソウ等は生育が悪く、やや遅延した。

根菜類：ニンジンの一部で発芽不良が見られた。

イモ類：サトイモは8月後半の降雨で生育が持ち直した。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘高尾’で着色が遅れ、収穫始めは7日遅くなった。

‘高尾’収穫始 8月29日（+7日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水、秀玉’で平年並み、‘稲城’で2日遅くなった。

‘幸水’収穫始 8月15日（±0日）

‘稲城’収穫始 8月26日（+2日）

‘秀玉’収穫始 8月26日（±0日）

（4）茶樹

8月上旬と下旬の高温により、葉の萎縮が見られる圃場があった。

3 病害虫の発生概況

（1）イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 多 >	発生は多かった。
ツマグロヨコバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

（2）果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

（3）茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（4）野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

(6) 島しょの病害虫

大 島：エダマメでカメムシ類、アシタバとブバルディアでアオバハゴロモの発生が多かった。

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生がやや多かった。

小笠原：父島でマンゴーのカイガラムシ類、かんきつ類のミカンハモグリガがやや多かった。父島、母島の両島でかんきつ類のかいよう病がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。